



さくらば節子市政報告

平成25年度 第2号
9月・12月定例会

ご挨拶

皆様、お元気で新年を迎えられたこと
をお慶び申し上げます。

昨年は国政においても政権交代後の著
しい変化に、経済・外交などで揺れた一
年となりました。上越市においては市長
選が行われましたが、村山市長が無投票
で選出され、二期目の挑戦を始められま
した。

12月には直江津港に国際石油開発帝石
の液化天然ガス（LNG）基地が竣工し、
日本テクノがガスエンジンの発電所建設
のために南部工業団地に進出を決めまし
た。さらには日本海沖メタンハイドレー

ドの開発調査に国の予算が付いて、直江
津港は今、日本海側の拠点的能量エネ
ルギー港湾となるか、全国の注目を浴びていま
す。

このような動きに加えて、平成27年春
には北陸新幹線の長野駅—金沢駅間が開
通する訳ですので、上越市民としては、
これからどんな街になっていくのか関心
が高まります。様々の課題を抱えてはい
ますが、転機を迎えている今こそ、私た
ちも気運をつかんで地域振興に商売繁盛
に、飛躍の年として行きたいものです。

視点

上越市政の重要課題だと思われるもの
を挙げさせていただきます。未来を見据
えた価値ある施策を、今こそ行うべきで
す。

①人口増加対策

若者定住促進策や子育て世代への就労支
援策を講ずる。（子育て休暇と職場復帰
支援）

②新幹線開通を機とした観光地づくり

現在ある資源を磨いて、市民と一体に
なって「訪ねたい街」を作る。

③勝てる農業を育成

補償金行政と決別して、競争に勝てる農

業を育成する。日本屈指の農業地域であ
る上越で、世界に輸出できる農産物・加
工品を作り、意欲ある若者が集いたい農
業施策を講ずる。

④日本の原風景・日本文化の伝統継続

中山間地域に色濃く残る日本文化の伝統
を文化遺産と考えて、継承する若者への
支援策を講ずる。（定住・移住への支
援）

⑤三世代同居支援策

介護・子育ての両面からも同居は有意義
な選択。同居介護への支援、リフォーム
支援などの施策を講ずる。

1. 9月定例議会—決算議会—

総括質疑では市長の平成24年度の三つの重点テーマを中心に、十分な取り組みであったかが論議されました。

①北陸新幹線開業に向けたまちづくり
新駅周辺の整備は順調に進んでいるが、未だに上越妙高駅の認知度は高くない。開業年には日本都市学会が開催される。

②災害に強いまちづくり
防災計画の見直しを行うも、原子力防災は国と県の計画に沿って行うため、県の計画待ちと言う状態である。

③中山間地域の振興
集落づくり推進委員を積極的に活用した。今後は地域商業活性化事業にも力を

入れていく。

このほか総合事務所の産業建設グループの集約によって、業務に滞りがなくないかどうかなどの質問には、「当初は連絡系統が不十分で職員が混乱した時もあったが、連絡網を明確化し職員一同緊張して職務に当たっており、現在の所はさしたる苦情も出ていない」という報告がありました。

また今回は国の要請を受けて「一般職員の給与一時的減給措置」を市が提案。国の財政難を地方交付税で補おうとする事への反発から、議員からの討論があったのち、賛成多数で承認されました。

2. 12月定例議会—補正予算承認—

総括質疑では市長の第五次行政改革大綱の着手を受けて各会派から質問が出ました。

特に来年度より合併後10年の期間を終えて合併算定替特例措置が終了し、交付税の段階的縮小が始まるため今後の市財政に対する不安があります。上越市のように多数の市町村が合併して広域化した市には、特別の配慮が必要と思われます。幸い現在国では地方財政の逼迫した現状に鑑み、この段階的縮小をどのよう

に実施するか、再度検討されております。上越市長も関係各市と提携して国に強く要望しています。

このほかに各種補正予算の承認、条例改正の承認などが行われました。

請願・陳情・決議案などで争点となったのは、「特定機密保護法の採決強行に抗議する決議」でしたが、賛成14、反対16、棄権1で否決されました。私は特定機密保護法採決を擁護する立場で討論を致しました。

3. 会派みらいの視察報告

人口問題に取り組む茨城県常陸太田市（ひたちおおたし）と議会活動にタブレットを導入した埼玉県飯能市（はんのうし）を有志議員と共に訪ねました。

常陸太田市では子育てしやすい施策を盛り沢山に実施して、子育て世代に魅力的な街づくりをする。そこから口コミで常陸太田市を宣伝するためのPR大使を育成するなどの積極的な取り組みが見られました。

必見：子育て上手常陸太田

<http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/data/settle/>





飯能市議会では早くからタブレットを導入しました。議員が個人でタブレットを購入する方式を取り、各々が自分の議員活動に活用することで、皆が早く慣れて行ったそうです。

タブレット導入で紙使用代金が減ると同時に、議会事務局の仕事が大幅に縮減し、その結果他の仕事ができるようになって、仕事が効率化したことが一番の利点だったようです。

上越市議会でも早急にタブレットを導入していただきたいものです。

4. 私の一般質問

9月議会（9/15）

職員給与減額について

地方公務員の職員給与一時減額が国より指導されていましたが、実施に踏み切る自治体が少なく、国は強硬手段に出て地方交付金を削ってきました。これに呼応する形で当市も一時減額を予算化し、それに先立って労組と折衝しましたが、決着がついていない状況でした。

私は市が行わなくてはならない行財政改革（無駄な出費を切り詰めて節約）を今後強く推進して行くためにも、市職員の給与減額は避けて通れないことと考え、これを速やかに実施していただきたい立場から質問しました。

市民の皆様から賛否両論の御意見を承りましたが、致し方ないことだと思います。市職員も限界に近い労働を強いられる場面が多くありますので、皆さまには彼らの努力にご理解をお願いいたします。

市民参画について

上越市は市民参画の推進努力を続けていますが、未だ不十分です。市民に関心の高い事案には、条例や基本構想の作成前から市民の意見を可能な限り取り込む仕組みが必要だという観点で質問しました。

12月議会（12/12）

介護一次予防について

介護保険料金の値上がりに多くの市民が悲鳴を上げる中、市は独自の介護予防訪問事業を通して少しずつですが成果を出しています。他の自治体からも注目されているこの事業の今後の成果が期待されます。

しかし地域を回っていて痛感するのは、介護保険のお世話にならない段階の元気な高齢者の方々が交流する場が少ないことです。これらの皆さんの介護予防（一次予防）と、高齢者の生きがい対策を含めたサロン事業の推進のためにももう少し積極的な対策が取れないか、と言う観点から質問しました。



5. 時事問題

特定機密保護法

先般国会で可決された特定機密保護法案について、国民の「知る自由」の侵害及び国家強権政策というような批判が多くあり、与党が強行採決したことについても、不満を持たれる市民がおられます。

これは日本の国益を護るために秘密情報を漏えいする人間を強く罰する法律です。現在各省庁でばらばらにある規定を一括して制裁力を強める目的があります。対象となるのは主に政治家や重要資料を管理する公務員です。

この法律が無いことで何が不利益なのかと言え、安全保障上の様々の重要な情報が外国に安易に漏れてしまうこと、そのため日本の同盟国ですらも日本に重要な情報は伝えてこないことです。昨年1月アルジェリアでの日本人拉致事件を思い出してください。イギリス軍・フランス軍などが人質救出作戦を立てましたが、日本には状況が一切伝えられずに、我々はただ見守るしかありませんでした。彼らの安否、誰を通して交渉すべきかなど、必要な情報が一切なかったからです。結果10名の尊い命が犠牲となりました。

先進国で機密保護法が無かったのは日本くらいで、一日も早く制定されるべき法律でありました。ただし機密の範囲をできる限り明確にし、政府が恣意的に法律の運用を曲げないように監視する第三者機関の設置が必要です。この点についてしっかりと見届ける必要があります。

慰安婦像

米国加州にグレンデール市という、上越市と同規模の市があります。そこに昨年設置された少女の像—慰安婦像—を巡る日韓の拮抗が、地元で生活する日系人に大きな影響を与えています。学校では日本人子女たちが悪質ないじめや嫌がらせを受け、日系住民はそれまで経験したこともない陰湿な環境にいます。

私は「慰安婦像設置に抗議する地方議員の会」の一員として、先日渡米して現地の実情を見てまいりました。市の公園に建てられた石碑にはこうあります。「私は日本軍によって強制的に性奴隷にされた20万人の慰安婦です。」慰安婦がいたことは事実ですし、誰も否定していません。意に反して慰安婦として親に売られた女性もいたことでしょう。しかし多くの女性たちは高収入な職業として（当時売春は合法）それを自主的に選びました。

「日本を貶めよう運動」(Discount Japan)を推進する人達によって設置されたこの慰安婦像は、事実とはあまりにもかけ離れています。あたかも近代史で最も悪質な人権蹂躪をしたかのように、日本人を貶め国際社会で孤立化させようとする意図が見て取れます。

私はこのような不当な運動に対しては、今後も断固戦います。

さくらば節子 市政報告 平成25年度第2号

発行日：平成26年1月22日
発行：櫻庭節子
住所：〒943-0648
上越市牧区小川1590番地
電話・FAX：025-546-7835
電子メール：
office@sakuraba-setsuko.jp

公式サイトもご覧ください。
<http://さくらば節子.jp>
(FBもやってます)

女性の声を市政に

